

会報 No.315



キャリア・コンサルタント

2021年（令和3年）4月10日

[発行] キャリア・コンサルタント協同組合

発行責任者：渡邊 健三

〒102-0052 東京都千代田区神田小川町 1-8-3
小川町北ビル 8F

Tel: 03-3256-4167 (代表)

直通電話：営業本部 03-6821-7544

：外国人材受入事業部

03-6826-7789

Fax: 03-3256-4168

E-mail：[会報編集部] henshu@ccco.jp

[事務局] jimukyoku@ccco.jp

[営業本部] eigyo@ccco.jp

URL：http://www.occ.or.jp

http://www.ccco.jp

編集長：田中 努

編集者：平松靖弘 影山和子 大野長壽

中野 忠 福田秀樹

(特別寄稿第8回)

1. コロナ情報

藤田医科大学 名誉教授 船曳 孝彦

2. ISO認証支援事業の始末記

元ISO事業部長 伊藤 亮二

3. 健康管理その6

「栄養素を考える、その1たんぱく質」

理事 宮坂 武彦

4. 事務局だより

事務局長代行 田中 努

一粒万倍

(特別寄稿第 8 回)

1. コロナ情報

藤田医科大学 名誉教授 船曳 孝彦

前回で取り敢えず終了しましたが、コロナ過が一向に収まる気配がないため、入院中の病院から「コロナ情報」をお送りします。

(1) 第 3 波から第 4 波へ

有効再生産数 R_t が 0.7 となり、第 3 波がやっと落ちて来たかと思っていたら、3 月になり 1.08 と、1 を越えて新患者数は微増に回りました。しかも新患者には確実に変異ウイルスが増えており、しかも無症状感染者、未症状感染者（そのが発症）からの感染比率はどんどん高まっています。他人は皆感染者とも思わなければいけないかもしれません。

(2) 変異ウイルス

ウイルスの一寸したアミノ酸の変化で起こり、従って何種類変異してもおかしくありません。現在イギリス型、ニューヨーク型、カリフォルニア型、南アフリカ型、ブラジル型などが解析され、程度の差はあれ、何れも感染力が高く、当初の予想に反して悪性度も高く、致死率も上がっているという報告が増えてきました。

医学的検討はまだ不十分ですが、TV などではフィリピン型の報道も見られ、日本でも新しい変異ウイルスらしきものが発見されたともいわれています。

ゲノム分析の得意な大学（慶應、医科歯科大など）、研究所との協力で早急に進めなければならないのに、モタモタやっています。名城大では簡便に検索できる方法を開発したという報道もありました。

(3) ワクチン

日本で不評のファイザーワクチンも、イスラエルでその有効性が証明されました。製薬会社に舐められ切った日本政府が、どれだけ輸入できるのか分かりません。

オリンピック開催と唱えながら、先進国（日本は先進国の仲間から外されようとしています）の中で最も接種率が低いのは許されません。モスクワオリンピックボイコットのよう状況となり、海外からの選手がいないことも想定されるのではないのでしょうか。私自身は無観客で開催出来たら最高だと思っていますが、無理だろうかと予測しています。

(4) 緊急事態宣言解除

医療界の反対、地方自治体の考えにかかわりなく、政府は近く解除するハラを決めたようです。本当に良いのでしょうか。『緊急事態』『時短営業』などの言葉に力がなくなってきました。TVではデパート（ホワイトデー）繁華街の人出は増しており、歌舞伎町以上に乱れた秋葉原はノーマスク、密着でとんでもないことになっているようです。

解除になるにしろならないにしろ、皆さん最大限にお気を付けてください。危ないです。
(2021.03.14 記)

2. ISO認証支援事業の始末記

元 ISO 事業部長 伊藤 亮二

私儀、定年退職後、一時シニアコンサルタント契約を結び、関連企業の業務改善などのお手伝いをしていましたが、本格的にキャリア・コンサルタント協同組合に参加し、ISO関連の規格認証とその運営のコンサルティングを行ったことも多々含まれていますので、その当時の巧拙した回想を再び楽しめたらと思っています。

1. 多様な人材終結と外部審査機関との連携

当初、組合内でのISOの研修会から活動を開始していましたが、会合を重ねるうちに、ISO規格を取得することが企業の品質管理または環境管理でステイタスになりはじめました。そこで我々グループも支援事業とすべく、正式に組合の中に活動母体としてのISO事業部を発足させました。

メンバーは組合員の中から、自動車、化学、カメラ、重工、計測の上場企業出身者が大半です。すでにISOの規格を承知していて、または品質管理を専門としていたものの参加を得られました。外部関連機関との連携も、一部大手の外部審査機関の審査員資格も含み、その後の支援作業に関する大きな助けとなった参画でした。

当初の外部関連先は東京商工会議所、通産省、東京都の各区中小企業センター、ロイドレジスター、電気安全環境研究所、インターテック、その他でした。

2. 取得支援を目指した規格の種類及び関連ドキュメントの確保

立上げ時の規格の基本は IS09001（品質管理）及び IS014001（環境管理）その後、企業の要望を拡げ IS013485（医療機器管理）とその関連の QMS（改定薬事法）等へ対応規格を拡大して支援範囲を拡げました。支援の概要は当該企業に対する規格の理解及び適用、対応業務の分析とシステム化以上、企業定着までの指導とマニュアルの作成、運用と評価及び規程の監査と是正などです。

支援の折のドキュメントの基本は規格協会発行の文書とするが、規格理解のための説明書、規格運用の参考書、内部監査口座テキスト、理解度テスト等、事業部の執筆者も豊富で、利用しやすいドキュメントが提供できました。

規格取得の支援のみならず、地方自治体セミナー、公的職業訓練センター、大学等の社会人研修講座等も多数請負いました。

3. 支援企業との間のユニークな改善の実践例

先ずは要請企業との ISO規格支援業務は 15 年以上にわたり、この間支援企業数は 40 社を越え、支援内容は教科書通りの支援完遂から、脱線した業務改善、営業の手伝い、工場の整理整頓まで様々であった。支援を開始してから事業部が解散するまで、長年お世話になった企業も数社あり、それらの企業の帰趨が案じられる今日この頃です。

- ①相模原市【精密機械部品の内外からの仕入れと一部組み立て販売】
中央区 輸入商社の認証一般例、支援時に日刊工業新聞の取材に会い、雑誌掲載の要請にも応じた。経営者は世間に PR になったと喜ばれた。
- ②横浜市【医療機器 X 線装置類の製造販売】
金沢区 親企業との縛りが多く、経営者の積極的な支援前の準備に好感が持てた。その後経営者の意向を受け、工場レイアウト改善及び文書化提案をした。
- ③東京都【エアコンサービスを主体に環境機械の保全管理を請負】
品川区 支援事業開始当時の親身サポート、事業部解散後も付き合い合う。
- ④東京都【各地チェーンホテルの清掃及び部屋作りの一括請負】
渋谷区 ホテル内の清掃作業の統一、手順書化と実践、途中でホテル合併作業も請負、名古屋のホテルまで含むという支援先分散の複雑な対応だった。
- ⑤愛知県【飼料国内販売及び陶器仕入れと輸出という商社】
碧南市 業務の流れがはなはだ複雑、認証間際に審査の辞退があったが原因不明だ。
- ⑥東京都【切削工具の製作販売、支援後の大田区の分工場の立上も請負】
練馬区 事業部創設時からの支援。支援中に社長逝去、新社長を応援し

認証。その後、積極的な新社長の意向でBCPを構築し施行した。

- ⑦千葉県 市川市 【段ボールの設計・製造及び梱包材の販売サービス】
支援中に工場長没、しかし支援継続を説得、認証取得し組合解散まで継続営業活動補強のため会社カタログを試作提案し、売上げアップに貢献した。
- ⑧鹿児島県 川内市 【半導体部品製造及び販売、神田の親企業との連携重視】
支援先が九州の遠隔地につき支援日程で苦労、試行中の半導体検証体制のミスに苦労した。社長からサービスの九州観光は楽しかった。
- ⑨東京都 墨田区 【墨田工場地帯への線材及び鋼材の販売商社、一部に販売前切断も含む】
ISO9001及びISO14001同時認証取得をめざし達成させた。経営者の要請で中小企業センターからISO取得助成金の申請をして承認された。
- ⑩東京都 文京区 【医療機器分析装置とその付属品の輸入販売】
医療機器の基本のみならず付属品の規格及びリスク分析の複層支援に苦労した。
- ⑪埼玉県 三郷市 【フォーミング部品、プレス、バネ、板バネ製造及び親企業要請の在庫管理】
支援期間中の経営者の交替、親企業との間の取り決めが多く調整が難しかった。
- ⑫東京都 足立区 【寺院、御廟のお墓貸し出しの業務管理と関係取引先に対する業務管理】
具体的に下町所在の合祀墓地の売買及び貸与管理の業務システム化と実践、ISO認証取得前に運用開始し、業務改善をめざしたが認証は棚上げだった。
- ⑬その他 【標準的な業務内容を中心に比較してみたが、各社の業務内容の多様化に改めて驚くと共に、規格の目的に対応させた構築を改めて再評価したい】

4. 事業部特有な取組みで喜ばれた支援

- ・支援途中に難問が出現しても、コンサル経験の豊富なメンバーの定例ミーティングに課題として提示すれば、素晴らしい回答で難問解決してくれる支援体制があった。
- ・当然、規格の基本を重要視すると共に、組合で用意した詳細規格の説明書、テーマ別の改善テキスト、内部監査の講座テキスト等、優れたドキュメントが、メンバーの実務者の専門目線で作成し提供され、評価が高かった。

注) 出版は雑誌に取上げられたものもあり、またテキスト類は自由な使用はOKであった。

- ・当キャリア・コンサルタント協同組合を利用のお客に、連携する審査機関からの推薦も多く、また一度当組合を利用された企業からの推薦例も多くあった。
- ・経営者の交替、管理責任者のアクシデントも多々突発したが、全て支援を強化し、代行できるところは補完して、認証の途中で辞退させることはなかった。
- ・現在テレワーク業務の到来が騒がれているが、当時から各自がしっかりと自宅で文書化を進め、関係者とファックス等の利用で事前に周知を図り、定例ミーティングで承認を行う体制をとっていた。

5. 事業部の解体に至る反省点

- ・事業部設立後、支援事業も順調だったため、若い層（60歳以降の定年年齢層）のコンサル参加の呼びかけがおろそかになり、事業部が高齢者の集団となり、解散の一因になったのが大いなる反省点です。
- ・ISO9001、ISO14001 認証取得の普及・沈静化が目立ち、BCP（事業継続計画）改定薬事法、環境管理にも大いに関与する標準可能な開発目標（SDGs）農業規格等も、既に一部支援の中で規格の勉強、試行等を試みたが、事業部の存続まで事業化に育たず、人材発掘を怠ってしまった。
- ・今期の国会予算委員会でも指摘されている通り、これからの中小企業の海外での発展と活躍は、中小企業の実態の特異性に頼っていては伸びない。国際規格の壁を乗り越えた企業の力量を持った活動をさせたい意向が示された。これからは国際規格で力量を整備した企業を育成したい。

あとがき

今までの人生経験から、回想の機会の多い退職後のコンサルタント時代をどう活動し、お客様にはどう喜ばれたかをまとめ、自身が回想を楽しむ材料としようと目論んだつもりでした。結果は、思い当たる回想に楽に結びつくものと思い込んでいました。ところが過去のコンサル事情を整理したところ、日頃目にする新聞・雑誌・TV等のニュースに敏感に反応するようになってしまい、まずい世間の対応には「もっと上手に対応しろよ」と分析したり愚痴等をこぼす始末です。

皆さんも回想の糧を豊富にするのであれば、穏やかな思い出に浸る旅行の記憶、例えば古寺巡礼のような経験を再度想いだし、紀行や撮影記などに整理し楽しむのがよいかも知れません。今回のまとめた記録は、コンサルタント時代の課題とか評価等で取り上げなければならなかった様ですね。

3. 健康管理その6 「栄養素を考える、その1たんぱく質」

理事 宮坂 武彦

1. はじめに

今回は、糖質過剰症候群を見てきました。今回から数回に分けて、我々が毎日食事で摂取している食べ物に含まれている栄養素について考えてみたいと思います。栄養学で言う三大栄養素として、炭水化物、タンパク質及び脂質を挙げてきましたが、炭水化物は、糖質と植物繊維を合わせたものであり、糖質と植物繊維は一緒くたに取り扱うことに無理があるため、ここでは、タンパク質、脂質、糖質、食物繊維、ビタミン、ミネラルの6つに分類し考えてみたいと思います。先ず今回は、体内の様々な細胞や組織の材料となるたんぱく質について見てみたい。

なお、各栄養素の分類とそれらが持つ体内における効能・効果については、別表として作成いたしましたので、参照ください。

2. タンパク質

タンパク質（＝プロテイン「第一のもの」）とは、20種類のアミノ酸（必須アミノ酸9種と非必須アミノ酸11種、下に示す通り。）が結合した高分子化合物をいい、タンパク質を摂取するとアミノ酸に分解されて体内に吸収され、そのアミノ酸を様々に再合成されてわれわれの体を形成する材料となるものです。従って、たんぱく質1g当たり4キロカロリーの熱量があるとされているが、接種したたんぱく質が全て熱量に変換されるわけではない。必須アミノ酸を効率よく摂取するため、アミノ酸スコア又はプロテインスコアの高い良質なたんぱく質を選んで摂取することが重要となる。良質なたんぱく質を含む食品には、卵、牛・豚等の肉類、チーズ等の乳製品、マグロ・さんま等の魚類などがある。

また、サプリメント等としてコラーゲンを摂取しても全て以下に記すアミノ酸に分解されて体内に吸収され、身体の必要性からさまざまに合成されて身体を構成する材料として利用され、必ずしもコラーゲンとして利用されるものではない。

アミノ酸の種類と働き

1. 必須アミノ酸 (体内で合成されないため、食物から摂取すべきもの)

イソロイシン	神経の働きを助けたり、筋肉を強化する。
ロイシン	肝臓の機能を高めたり、筋肉を強化する。
リジン	成長を促し、組織を修復する。抗体等の材料となる。
メチオニン	解毒作用や抗腫瘍作用がある。

フェニルアラニン	ドーパミン等の材料になり、血圧を上昇させる。
スレオニン	成長を促す。
トリプトファン	神経伝達物質の材料となり、鎮痛作用や免疫力を高める。
バリン	成長を促し、筋肉を強化する。
ヒスチジン	幼児の成長に必須で、神経機能を補助する。

2. 非必須アミノ酸 (体内で合成されるもの)

グリシン	ヘモグロビンの材料となり、解毒作用がある。
アラニン	肝臓のエネルギー源になる。
セリン	生体膜の材料となるリン脂質等の材料となる。
アスパラギン酸	エネルギー代謝を促し、疲労回復効果もある。
アスパラギン	新陳代謝をさかんにする。
グルタミン酸	脳や神経の働きを助け、疲労回復効果もある。
グルクミン	胃腸や筋肉の機能を保ち、体脂肪の代謝を促す。
アルギニン	成長ホルモンを合成し、体脂肪の代謝を促す。
システイン	メラニン色素の賛成を抑制する。
チロシン	アドレナリン等の神経伝達物質の材料となる
フロリン	コラーゲンの主要成分となる。

(つづく)

4. 事務局だより

事務局長代行 田 中 努

●第26期の「通常総会」は5月27日(木)午後3時より、組合事務所会議室で開催されます。決算内容は昨年より良くなり、一人前となりました。これも組合員皆様の努力の賜と思います。コロナ禍の自粛生活で、昨年につき「懇親会」は中止となり、総会も「議決権行使書」による簡素なものにしたいと願っています。

●今年も昨年に続き、「ソメイヨシノ」の開花が早く、3月中にお花見が終わってしまった。三寒四温の中、年寄りにとっては寒暖の差に身体がなかなか付いて行けない。コロナ禍で花見の宴会は自粛が要求され、花見も通り抜けて、アルコールはご法度になってしまった。屋内でも5人以上での飲食は「自粛せよ」との事である。

●コンサルタント事業である東京都等の官公庁の「入札案件」が、期末（3月末）に集結した結果、「売掛金」が多額に発生し、本部の事業はかなりの黒字になりました。一方、外国人材受入事業も例年通り以上の成績でした。その結果、決算仕訳に少し時間が掛かるようになりました。嬉しい悲鳴であり、組合も一人前になったようである。

●外国人材事業の組合加入者が増加し、期末の組合員は50社（人）を超え、半数近くが外国人材事業の組合員となりました。しかし出資金はその割に増加せず、一部の組合員の出資金の増額にも関わらず、6万円（口）増加の375万円となりました。

●今期（4月以降）は「Pマーク」と「ホームページ」の更新時期に当たり、また、組合の役員報酬の計上も必要となり、事業計画での予算も膨らむようである。コンサルタント事業も外国人材受入事業も、第26期並みであれば充分支払能力があると思われる。当組合も一人前になったことは喜ばしいことである。

●4月の行事等の予定

- 7日（水）東京都オンライン会議（13：00）
- 13日（火）運営会議（10：00）①.
- 14日（水）営担会議（10：30）
- 20日（火）理事会（13：00）
- 28日（水）営担会議（10：30）

●5月の行事等の予定

- 11日（火）運営会議（10：00）
- 12日（水）営担会議（10：30）
- 17日（月）決算理事会（13：00）
- 26日（水）営担会議（10：30）
- 27日（木）第26回通常総会（15：00～）懇親会は中止

一粒万倍

▼今年は史上最も早く桜前線が北上し、関東以西ではお花見が3月に終了した。「サクラ」は花が散ると葉が伸びる。しかし同時期に咲くバラ科の「カイドウ」は葉が先に成長し花が後から咲く、カイドウの花は下向きで、いつもうなだたれている。散った花びらは薄いピンク色で「ソメイヨシノ」と見分けがつかない。同じ時期に咲く花であり、下向きで可憐な姿は愛らしい。

▼5日から大阪府・兵庫県・宮城県では「緊急事態宣言」に代わって「まん延防止等重点措置」が適用された。また12日からは東京都・京都府・沖縄県にも適用された。これは政府が都道府県を指定し、知事が市町村を指定するという、いかにも日本的な発想である。国民は1年以上に亘る自粛生活の中で、窮屈な生活を要求され、開放感を求めてきている。日本では都市の「ロックダウン」は不可能であり、如何に政府が音頭を取って、このコロナ禍を鎮めるのか、待ったなしの時期に来ている。

▼我が国はいつの間にか「ワクチン後進国」になってしまった。今までは「先進国」であったが、ワクチンの開発も遅れてしまい、輸入ワクチンをアチコチに分けている現状である。さらに「デジタル化」も後進国であり、経済・環境・ジェンダー・人権などの他、財政迄も後進国になってしまっている。「ジャパン・アズ・ナンバーワン」はどこに消えてしまったのか？

編集後記* 今月はOBの伊藤さんから寄稿を頂き、榎木さんのCCKの歴史を補う形になりました。有難う御座います。* 宮坂理事の「健康管理」も佳境に入り、読者皆様の健康維持に必要となっています。* 今月は依頼した原稿の集まりが少なく、皆様の積極的な投稿をお待ちしております。* 第26期の通常総会は5月27日に開かれるが、コロナ禍での自粛生活で、総会後の懇親会は昨年が続いて中止になりそうであり、総会自身も「決議権行使」で縮小されるようだ。